

# METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

## 特集：「大学生と話そう会」 44人の高校生が参加

5月26日、本学地域学校教育センター主催の「2024 大学生と話そう会」が行われました。明海大学と教育連携協定を結んでいる高等学校から、高校生44人が参加しました。高校生たちは、引率の先生方と貸し切りバスで大学に到着した後、大講義室で大学紹介ビデオを視聴し、当日行われているオープンキャンパスの一部である「学科魅力発見コーナー」の見学や学食体験をしました。午後には30周年記念館学生ホールで行われた交流会では、ボランティア学生たちと自己紹介をした後、大学生活についてのQ&Aや、SDGsに関連するテーマでのディスカッションを楽しみました。参加者からは「話し合いで緊張したけれど、大学生がリードしてお話してくれて楽しかったです」「現役の大学生の声を聞いて今後の将来についての勉強になりました」「第一志望にしよう決めました」という声が聞かれました。ボランティアとして参加した25人は教職課程の学生や留学生で、会の運営や高校生との懇談で大いに活躍してくれました。



## 2024年度足立区民対象英会話講座（第1クール）開催中！



今年度も、足立区との連携協定に基づき、足立区民対象英会話講座の第1クールが5月12日から足立区の「こども支援センターげんき」で始まりまし。講座名を「海外旅行&インバウンドにも対応！旅と出会いの初級英会話講座」とし、各回2時間の全5回のプログラムで実施します。多くの区民から応募をいただき、抽選で32の方が幅広い年齢層から選ばれました。旅をテーマに様々な場面を想定して、やさしい英語を使って、自分の考えや意見などを伝え合う活動を行っています。受講者は一人一人の学びたいという気持ちと笑顔が醸し出すなごやかな雰囲気の中で楽しく取り組んでいます。

講師は、本学地域学校教育センター西貝裕武教授、多言語コミュニケーションセンターのPatrizia Hayashi教授とTyson Rode准教授です。また、教職課程履修の英米語学科4年の富樫美智雄さん、3年の霜方柚奈さん、花澤真彩さん、2年の嶋崎意住美さんが、学生スタッフとしてサポートしてくれています。受講者、講師、学生、運営サイドの一人一人が「明日も頑張ろう！」という気持ちになる活気に満ちた講座です。

## 教育実習体験記

6月に入って4年生の教育実習が本格化しています。東北から九州・沖縄まで自身の出身地に戻り、母校で実習を行う人もたくさんいます。今回は既に実習を終えた4人に実習体験記を寄せてもらいました。

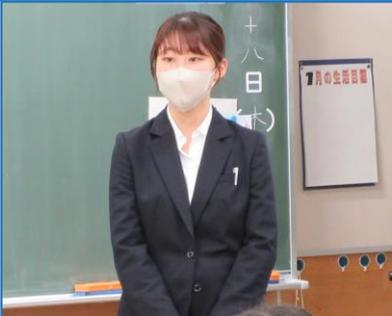
吉野青空さん 実習校/七尾市立中島中学校

最初の授業は散々な結果で、授業終了後は生徒に合わせる顔がありませんでした。そんな私に生徒は「おもしろかった」「わかりやすかった」と言ってくれました。この生徒たちのために少しでもよい授業を作らなければと思い直し、少しずつ生徒に寄り添った授業ができるようになっていきました。生徒の人生を共に背負う責任を改めて強く感じると同時に、その責任を背負ってでもやりたいと思えるほどのやりがいを感じる事ができました。



池内夏美さん 実習校/千葉市立小中台中学校

授業の中では、自分自身のテンションやパワーで生徒としっかりと向き合わなければならないことを学びました。そのためには、英語の授業では、俳優になって演じることがとても大切だということを教えてもらいました。辛いことの方が多かったけれど、何よりも生徒たちの笑顔に勝るものはなく、何度も助けられました。生徒が頑張り、成長する姿を見て、そうした頑張りや成長を支えていくためにも教師自身が日々学び続けることの大切さを知りました。



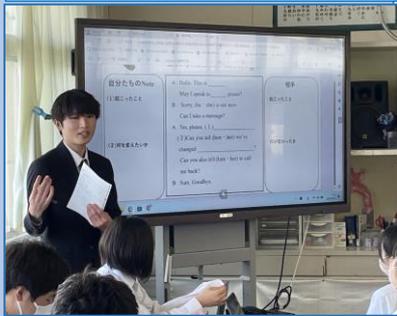
大野杏里さん 実習校/富里市立富里中学校

私の3週間の教育実習は、経験して本当によかったと思えるものでした。生徒たちは、とても明るく楽しい子たちばかりで、私の教育実習を支えてくれたと言えるくらい良い生徒たちに出会え、毎日充実した生活を送ることができました。また、指導教員の先生や他の先生方が何かあるたびに気にかけてくれて、多くのアドバイスや役に立つお話をしてくださり、全力で指導していただいたので、3週間で自分の成長をしっかり感じる事ができました。



古川湖菜さん 実習校/九十九里町立九十九里中学校

大学で学んだことを生かそうと思っていましたが、既に学校では生徒の実態に合わせた工夫や英語力向上のための取組が進められていて、実際に授業を行ってみると、ICTの操作や英語での指示、説明に戸惑うことばかりでした。授業をするに当たっては、あらゆる事態を想定して入念な準備をすることが必要不可欠だと思い知りました。生徒とのコミュニケーションが励みになり、生徒の皆のおかげで諦めることなく、常に前向きな姿勢で臨むことができました。



## 集団面接・集団討議練習開始

5月22日から千葉県・千葉市の教員採用選考対策として集団面接・集団討議練習がスタートしました。実際の試験を再現し、扇型に席を配置して座り、20分間の練習を4～6人1組で行います。初めに一問一答の面接を行い、その後、与えられたテーマについて討議をします。終了後、面接官役や観察をしていたMETTSの先生方がそれぞれ助言をしていきます。毎回、この練習を2回ずつ行います。学生は皆、事前に配付された資料を使ってしっかりと準備をして練習に臨み、真剣な面持ちで取り組んでいます。7月7日の本番に向けて15回程度実施する予定です。



アゴラ活用状況(人)

5月	292
2018年からの延べ数	64,526